

年度	平成16～18年度
----	-----------

**基本目的 8 市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせる**

**行動目標 8-1 市民の芸術・文化活動が高まる**

(所管課名 教育委員会社会教育課)

**任務**

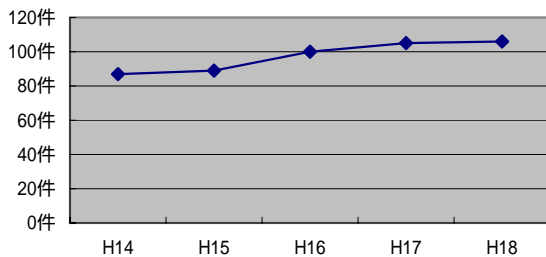
文化財・埋蔵文化財を保護するとともに、その活用を行い、文化財・埋蔵文化財に対する市民の関心と理解を深める。

**任務の成果・活動指標の推移**

**国・県・市指定文化財の指定件数**

H14実績	87件
H15実績	89件
H16実績	(四) 93件 (楠) 7件
H17実績	105件
H18目標	106件

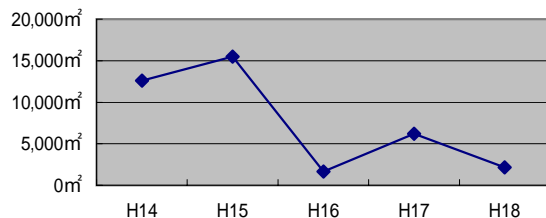
国・県・市指定文化財の指定件数



**発掘調査面積**

H14実績	12,600㎡
H15実績	15,500㎡
H16実績	1,669㎡
H17実績	6,222㎡
H18目標	2,150㎡

発掘調査面積



**指標の説明**

文化財の保護には、国・県・市による文化財指定と埋蔵文化財の発掘調査による記録保存があり、数値化できるものとして文化財指定件数と発掘調査面積を掲げた。

**任務に対する評価**

**これまでの取組と成果、手段の妥当性**

**平成16～17年度**

県指定・市指定合わせて9件を文化財指定(旧楠町分を除く)。開発によって現状保存が困難な遺跡7,291㎡分の発掘調査を行い、記録保存を行った。指定文化財の修理に補助金を交付(16年度3件、17年度2件)。御池沼沢植物群落保護のための連絡調整会議開催(1回)。これらの取組により、文化財を保護することができた。

発掘展(入場者数は16年度6,120名、17年度5,211名)、久留倍遺跡現地説明会(参加者数16年度450名、17年度350名)を開催。

埋蔵文化財の学校教育での活用のため、『発掘された四日市の遺跡(CD)』を作製し、市内小中学校66校に配布。

これらの取組により、文化財に対する市民の理解を深めることができた。

**平成18年度**

久留倍遺跡の整備基本計画・北パイに付帯する整備工事の実設計・学術調査を実施する。

御池沼沢植物群落の連絡調整会議を開催し、管理計画を策定する予定。

市指定無形民俗文化財「南楠鯨船行事」の鯨船山車修理のため補助金を交付。

全体としては文化財の保護・活用は前進し、市民の文化財に対する理解を深めることができた。

**これからの課題、施策等展開の方向性**

北パイに付帯する整備工事の実施。平成21年度を目標に用地買収を進める。久留倍遺跡整備基本計画に基づき、整備の実設計に入る。